

平成 14 年度（ 2002 年度）事業計画書

昨年末に文化芸術振興基本法が制定され、わが国においてもようやく文化芸術の環境整備に政府が本腰を入れて取り組む姿勢が打ち出されましたが、これに関連して当協議会の助成認定制度の対象範囲を2002年度から拡大し、まずは文化芸術に関する寄付税制の一部改正がはかられることになりました。

これは政・官界において、協議会の過去10年余にわたる活動実績が認められた証左でもあり、当協議会に対する各方面からの信頼と期待の高まりを表すものと考えます。

しかしながら、一方、国内経済はあいかわらず低調に推移しており、2002年度も企業のメセナ活動及び当協議会を取りまく環境はさらに厳しさを増すことが予測されます。これらの状況を踏まえ、2002年度の協議会活動は、以下を重点項目として取り組むこととします。

1. アクションプランの推進

昨年9月に「メセナ・パートナー計画のアクションプラン」として発表した下記の活動項目について、研究部会を中心に検討を進めて可能なところから着手し、新たな協議会活動の展開に向けてチャレンジしてまいります。

① 多彩な支援メニューの提示

- ・複数社による「共同メセナ」のアレンジ
- ・使用目的を限定した「ファンド」の創設、など

② 芸術 NPO との協働体制の模索

③ メセナへの市民参加の促進 など

2. 助成認定制度の運営体制の強化

前述の対象範囲の拡大に対応し、認定要件の改定、選考委員会組織の拡充、事務局の担当体制の強化などをはかるとともに、制度自体のより効果的な展開のあり方について検討を進めます。

3. 基本情報の発信

低迷を続ける経済状況下において、企業のメセナ活動は厳しい逆風にさらされており、ともすればその社会的意義が軽視される傾向にあることから、改めて原点

に立ち返り、企業メセナの意義・目的、活動の具体例などに関する基本的な情報を積極的に発信していきます。

1. 啓発・普及事業 (5,890 千円)

1.1 セミナー&研究会、フォーラム等 (2,400 千円)

企業メセナの啓発、会員への情報提供、会員相互の情報交流を強化するため、本年度はセミナー&研究会、フォーラム等を積極的に実施します。

□セミナー&研究会 企業メセナ関連の文化施設の視察を交えたセミナー、それにもとづいて参加者同士がディスカッションを行う研究会等を年間 10 回程度開催します。

□フォーラム 会員および一般参加者が 1 泊 2 日の日程でメセナについて徹底討論を行う『葉山フォーラム』を 2002 年 7 月 26 日(金)・27 日(土)、昨年に引き続き神奈川県・湘南国際村センターで開催する計画です。

□実務担当者の交流会 会員企業のメセナ実務担当者による情報交流会（若手ネットワーク）が会員からの提案により、本年 2 月に発足しました。今後もひきつづき本会を通して、会員相互の情報交流が活発に行われるようはかります。

1.2 全国メセナ組織との交流 (500 千円)

全国メセナネットワーク（加盟 16 団体）の本年度全国会議は 2002 年 9 月 13 日(金)・14 日(土)、新潟市で開催される予定です。

本会議には、例年同様に当協議会会員にも参加を呼びかけ、加盟団体関係者との交流を通じて、地域におけるメセナ活動の振興に努めます。

2. 情報集配・仲介事業 (29,840 千円)

2.1 情報誌の発行 (8,200 千円)

本年度もひきつづき情報誌「メセナ note」を年6回、隔月に発行します。

□発行月 奇数月15日

□体裁 A4サイズ、8ページ

※増刊号・増ページ号の発行予定

○10月(メセナ大賞読者賞案内)

○11月(『メセナレポート』:メセナ実態調査結果発表)

□発行部数 5000部

2.2 ホームページにおける情報発信 (6,990 千円)

IT時代を迎え、多くの組織にとって今やホームページは重要な情報発信メディアとなっており、この傾向は今後ますます強まるものと思われま

す。そこで、当協議会のホームページにおいても、昨年11月から開設したオンラインデータベース『メセナビ』をはじめ、協議会活動やメセナに関連する情報をさらに充実させ、積極的に発信していきます。

2.3 コーディネート事業 (収入:11,380千円、支出:9,370千円)

会員及び公的機関からの要請を受けて、さまざまな芸術文化支援活動の企画・運営を担当するコーディネート事業を次のとおり実施します。

依頼企業・団体名	内 容
トヨタ自動車	トヨタアートマネジメント講座
アサヒビール	アサヒ・アートコラボレーション
山口県山口市	山口情報芸術センター・イベント企画

3. 調査研究事業 (9,510 千円)

3.1 調査活動 (4,160 千円)

(1) メセナ活動実態調査(4,160 千円)

調査部会では、例年どおり前年度の企業メセナの動向についてのアンケート調査を実施し、その集計・分析結果を今秋に発表します。

調査対象 民間企業約 4000 社

実施時期 2002 年 4 月～5 月

発表方法 ①新『メセナ白書』

②『メセナ note』増ページ号<メセナレポート>

③オンラインデータベース『メセナビ』

④マスコミ記者発表会 (2002 年 10 月実施予定)

(2) 新『メセナ白書』の刊行(6,880 千円 ※情報集配事業費に計上)

2001 度から協議会ホームページ上にオンラインデータベース『メセナビ』を開設したことにより、2000 年度まで毎年発行していた『メセナ白書』は、2 年間隔での発行に改めました。

本年度はその発行年度にあたることから、実態調査結果をベースに各企業のメセナ活動に関する取材レポートや過去 2 年分(2000 年度・2001 年度)の企業メセナ実態調査のデータ比較などで内容を構成し、新『メセナ白書』(仮称)として刊行します。

3.2 研究活動(300 千円)

研究部会では、昨年度に発表した「パートナー計画のアクションプラン」の具体策を中心に研究活動を推進するとともに、研究成果に基づいたテーマのもとで前述のセミナー&研究会やフォーラムなどを企画し、実施します。

4. 顕彰事業 (14,100 千円)

4.1 メセナ大賞 (9,920 千円)

大賞部会では、「メセナ大賞 2002」を例年同様に実施し、企業によるメセナ活動の奨励をはかりますが、本年度はとくに地域における芸術文化支援活動を極力、クローズアップするように努めます。

なお、昨年度にひきつづき『メセナ note』読者賞を本賞のほかに設けます。

応募締め切り 5月末

審査委員会 9月下旬

贈呈式 11月29日(金) 会場：東京青山・スパイラルホール

[2002 年度審査委員]

池上 惇氏 (京都橘女子大学教授) ※ 池田逸子氏 (音楽評論家)

富永壮彦氏 (音楽評論家) 中沢けい氏 (作家)

ピーター・バラカン氏 (ブロードキャスター)

平田オリザ氏 (劇作家・演出家) 福田美蘭氏 (画家)

本江邦夫氏 (多摩美術大学教授) 福原義春会長・理事長

※ 前年度まで審査委員の河合隼雄氏は本年1月に文化庁長官に就任されたため、その後任を池上惇氏にお願いしました。

5. 国際交流事業 (1,770 千円)

各国のメセナ組織と日常の情報交流を継続するほか、毎年開かれている次の国際会議に事務局から出席します。

会議名 国際メセナネットワーク会議

開催時期 2002年10月

開催地 オーストラリア・メルボルン

6. 助成事業 (助成寄付金額 500,000 千円/認定業務費 23,000 千円)

文化芸術振興基本法の制定による最初の成果として、寄付税制の一部改正が行われ、当協議会で実施している助成認定制度の対象範囲が 2002 年度から拡大されることになりました。

これにより、当協議会としては、より幅広い分野にわたる申請案件を選考委員会で審議することになる一方、事務局担当窓口へアーティストからの相談件数が大幅に増加することが予想されます。

このため、これまでの認定基準の改定、選考委員会における審査要領の見直しとともに、拡大後も制度がスムーズに運営できるように事務局体制の強化をはかります。なお、特別会計に計上している助成寄付金の収支予算額については、従来的一般事業費対比による設定を改め、2002 年度からは前年度実績にもとづいて設定します。

(参考)助成認定活動実績

年 度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001※
申請件数	103	92	125	121	121	172	176	152
認定件数	83	80	109	115	111	155	165	112
寄付件数	159	430	661	769	697	752	879	869
金額(万円)	19,705	31,102	55,590	86,555	44,281	51,566	53,305	51,941
1 件当り(万円)	123	72	84	113	64	68	60	60

※2001 年度は、11 ヶ月間の実績

以上